



大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express

VOL.61

2020年12月



目次	P
感染症予防対策支援物資配布	1
しみんのちから登録団体紹介	1
南中円卓青パト隊ほか	2
さやまブレイクで遊びませんかほか	3
情報ステーション	4

感染症予防対策用支援物資配布

新型コロナウイルス感染拡大に関しての市民活動団体向け支援策として、手指消毒液（500ml）1本と使い捨てマスク（50枚）2箱を、希望する団体に配布しました。これは大阪狭山市の独自事業として行ったもので、当支援センターが市の委託を受けて申請受付、配布等を行いました。8月11日（火）～9月30日（水）までの間、市内で活動する団体で配布を希望するところに大阪狭山市南館内の市民活動支援センターで配布しました。申請のあった団体は合計357団体あり、10月中にはすべて配布を終えました。まだまだ勢いの衰えない新型コロナウイルス、感染防止に役立ててもらえればと思います。



「しみんのちから」登録団体NO.26 狭山の副池自然づくりの会

農業用の溜池を市民の憩いの場にするべく整備されたオアシス公園の維持管理や活用を目的に平成14年2月より活動している団体です。毎月第1・3土曜日午前9時30分から12時まで除草作業、樹木の剪定などの力仕事の他にもお茶出し、工作のお手伝いなど、あなたにも出来ることが見つかるはず。まずはオアシスの自然を満喫しにきてください。コロナのなかでも毎月活動を休みなく続けています。10月は木の実の工作、11月はほうき草のほうきづくり、12月は松ぼっくりクリスマスリースの工作です。太陽光発電のちからを利用して人工の小川を作ったせせらぎ水路には白メダカ・山メダカ・アメンボ・どじょう・アメリカ

ザリガニが生息しています。オアシス公園に、子ども連れで遊びにきてください。活動に興味のある方は
問合せ：090-1023-3529（岡田）まで



陶器山の自然



ヨシカモ

情報提供
あまの街道と
陶器山の自然を守る会

南中円卓会議 青パト隊の活動

南中円卓会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で主な活動が中止となりましたが、防災防犯部会では小中学生の下校時の見守り・空き巣防止を目的として青色防犯パトロールを7月より再開しました。

再開に当たっては、市の防災防犯推進室及び黒山警察南交番と相談し、3密を避け青パト車の使用前後に消毒及び車内換気を徹底して実施しております。

毎週火曜日・水曜日・金曜日の午後2時30分から4時までの間に、部会員及び協力者がローテーションを組み、エリア内の3小学校周辺及び15自治会周辺をパトロールし、地域の安全安心のため新型コロナウイルスに負けない活動を実施しております。

円卓カフェ・元気体操をはじめ他の活動が再開するため

にも早く新型コロナウイルスが終息してほしいと願いつつ、南中円卓会議はこれからも頑張っています。



NPO法人南大阪サポートネット「月のまつり」開催

NPO法人南大阪サポートネットの行事「月のまつり」が10月31日(土)開催されました。同団体の活動は令和2年の市民公益促進補助金交付対象で、様々な人権擁護を推進する目的で2001年から活動しています。「月のまつり」の会場はTO-Villaファームの稲刈後の田んぼです。足元が滑らないように地主さんやご近所さん、



沢山のボランティアの方によって6時間以上前から準備が進められました。会場ではTO-villaファームで収穫された無農薬大豆で作った自家製味噌など販売、バザーやおでん屋台もありました。ステージではほぼ飛び入り参加で、横笛・太鼓・バイオリンアンサンブルの演奏が行われ、キーボードに合わせて皆さんで歌う場面もありました。ソーシャルディスタンスなどの感染予防対策を取りながらも、楽しいひと時を過ごすことができました。また、この日はブルームーン(※)でもありました。(※ひと月に満月が2度あった時の2度目の事) 俗説では「ブルームーン」を見ると幸せがやって来る・願いが叶うなどと言われますが、『何か幸せをもたらしてくれる』のではなく、『幸せはいつも自分たちでつくっている』のではないのかと実感した素敵な1日でした。

市民生涯学習講座 ～人生100年時代を楽しく生きるために！～

11月28日(土)SAYAKAホール大会議室にて、大阪大谷大学の中道厚子教授に「人生100年時代を楽しく生きるために！」をテーマにご講演頂きました。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、会場設定は適宜距離を取り、参加者32名・スタッフ10名の通常定数の約半分に調整して開催しました。参加者の男女比はほぼ半々で皆さん大変興味深く聴いておられました。人生100年楽しく生きるために“生涯学習”が重要なキーワードのようです。高齢者の経験と知恵は「宝」ということで、「私のお宝」発掘のワークがあり、皆さんが真剣に取り組むなかで、子どもだけでなく全ての世代がいつでも・どこでも・なんでも学べる生涯学習社会の実現に向けて、「お宝」を探せる手法を皆さんで学びました。



さやまプレーパークで遊びませんか！

市立公民館の地域活性化事業として今年も副池オアシス公園で11月1日（日）開催されました。「なにしてあそぶの？」ではなく「こうしてあそびたい！」の場所と、「一緒にあそぼ！」のなかまづくりをめざしています。「子どもも大人もみんなであそびましょう！！」ではじまりました。10時～16時の開催で、天気もよく気持ちのよい1日でした。プレーパークは自分の責任で自由に遊ぶ場所です。協力メンバーとしては、副池自然づくりの会がこの日もサポートしていました。

参加のみなさんも思い思いのあそびを楽しんでいました。



第9回まちづくり活動発表会



しみんのちからに登録されている3つの団体に活動取り組みを発表していただきます。

その中で、お互いに“できる”ことを考えていただき、さらなる“市民力”“団体力”の必要性について理解を深めていただきたいと思います。

●と き：令和3年1月23日(土) 午後2時～4時

●と ころ：SAYAKAホール 2階 大会議室

●定 員：40名（定員になり次第締め切り）

●申込締切：令和3年1月18日（月）

* 新型コロナウイルス感染防止事情により中止の場合があります。

申込み：大阪狭山市市民活動支援センター宛て氏名・住所・電話・所属団体など記入してFAXかメールで

●FAXの場合：072-366-4664

●メールの場合：vic@osakasayama-sc.jp

SDGsを楽しく知ろう・活かそう

SDGs 第1弾に続き今回は第2弾として、大阪狭山市における市民活動の活性化に向けて市民活動団体の取り組み状況を分析・解説していただきます。

●と き：令和3年2月13日(土)

午後2時～午後4時

●受 付：午後1時30分から

●と ころ：SAYAKAホール 大会議室

●講師：大阪大谷大学 人間社会学科 学科長
教授 岡島克樹さん

●参加費：無料 ●定員：40名（先着順）

●申込み：1月31日（日）までに当センターまで

・TEL・FAX：072-366-4664

・E-メール：simin025@yacht.ocn.ne.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第24回団体交流会

当センターでは、市民と団体、団体と団体、団体と大学・地域組織等が顔合わせして新しい枠組みが出来上がり、明るいまちづくりを進められるよう、団体交流会を実施しています。新型コロナ感染拡大の為しばらく開催できませんでしたが、下記の通り開催します。なお、今回は感染対策の為、いつものようにグループごとの討議の場は設けず、講演中心のプログラムです。内容は以下の通りです。

1. 大阪狭山市生活環境Gによる出前講座
「大阪狭山市のごみ事情とごみ分別・出し方について」
2. ごみ減量推進会議による「官民協働のごみ減量対策」
3. 市民が行えるごみ減量についての意見交換

- と き：令和3年3月6日（土）午後2時～4時
- ところ：コミュニティセンター4F大会議室
- 申込み/問合せ：市民活動支援センターVIC

TEL：360-1011 FAX：360-1012

E-メール：vic@osakasayama-sc.jp



情報ステーション



大判プリンター利用講習会のお知らせ

- 日 時：12月13日(日) 午後2時～4時
- 場 所：市役所南館2階 市民活動支援センターのミーティングルーム1
- 対 象：市内で活動する市民活動団体関係者
- 内 容：大判のインクジェットプリンターを使ってポスター、横断幕、のぼり、写真等を印刷する方法の講習会です
- 参加費：無料（材料費は実費）
- 定 員：10人（先着順）見学だけでも可
- 持ちもの：出力するためのデータを保存したUSBメモリー
- 申し込み：12月11日(金) 午後5時までにFAXかメールで参加者の名前・電話番号・メールアドレスを明記の上支援センター FAX:366-4664 へ
・電子メールの場合は
soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com
支援センターホームページからも申し込みできます。

<http://osakasayama-sc.jp>

- 問合せ
市民活動支援センター
・電話：366-4664
・E-メール：
simin025@yacht.ocn.ne.jp



編集後記

新型コロナウィルスが猛威を振ったこの1年。振り返れば、いろんなことがあった。志村けんさんが3月、岡江久美子さんが5月に亡くなり、コロナが急に迫ってくるのを感じた。高校野球が中止、東京オリンピックが延期に。無観客試合、無観客ライブなるものも現れた。私たちの身近では公民館が、図書館が、SAYAKAホールが、次々と閉められた。日本中に感染が広がる中、岩手県だけが感染者0で長い間頑張っていた。0が続く日を陰ながら応援していたのに、いつの間にか一日の感染者が13人とか15人とか発表されるようになってしまった。コロナ対策と経済とを両立させなければと国も頑張ってきたが、どうも雲行きが怪しくなってきた。そして、ついにと言ったらいいか「静かなマスク会食」が言われるまでに。食事中にマスク？最初は耳を疑った。コロナ終息の見通しも立たず、この先どこまで感染が続くのだろう？今ではどこに行っても、手指の消毒、マスクの着用などはすっかり日常の風景になってしまった。新しい年はたとえ牛歩であっても前進する年になってほしいと願うばかりだ。（H）

大阪狭山市市民活動支援センター

News Letter Express

発行責任者：橋本 巖

編集責任者：早野 秀夫

〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5

☎・Fax：072-366-4664

E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp

<http://osakasayama-sc.jp/>

